

一般質問



菊池 義人(市民クラブ)
蓮田スマートインター
及び周辺の土地利用
について

スマートインター(上り線)について

問 進捗状況は。

答 令和3年7月よりネクスコ東日本が蓮田スマートインターチェンジ(上り線)の工事に着手し、ランプ線の道路工事やETC施設の設置工事などを進めています。市は埼玉県と共同で一般道からスマートインターチェンジにスムーズに誘導ができるよう市道、県道に標識設置や路面標示などの整備を進めています。

問 建設中のスマートインターチェンジは元荒川方面から来た車両が右折して入ることは可能か。

答 可能となります。

問 完成時期は。

今定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

答 工事が順調に進めば来年の春頃にはオープンのあかつきを迎えるのではと思っています。



工事が進むスマートインター(上り線)

問 スマートインター(上り線)周辺の土地利用及び道路の整備について
地域からの要望は。

答 令和2年3月27日には、蓮田サービスエリア上り線周辺土地利用協議会から「現在の農業系の土地利用から商業施設や工業系の土地利用へ転換したい」との要望書をいただいています。

問 (仮称)新スマートインターチェンジ(仮称)新スマートインターチェンジとは。

答 スマートインターチェンジ上り線と岩槻区馬込、岩槻区北部工業団地(古ヶ場)を結ぶ構想路線です。スマートインターチェンジ開通後の交通事情を確認し計画を進めたいと考えています。

問 スマートインター(下り線)について
現状は。

答 ネクスコ東日本がランプ線の設計を進めているところです。また、埼玉県が県道蓮田白岡久喜線の道路改築事業の設計を進めています。それぞれの道路設計が完了した後、市が用地事務を進めます。※ほかに、黒浜緑地について、屋外スポーツ施設について質問。



近藤 純枝(はすだ政和会)
西新宿・西城地区の
内水氾濫について

問 原因・問題点は。

答 雨水の自然流下が困難となり、行き場を失った多量の雨水が集まると内水

氾濫が発生するため、ゲートを閉めてポンプによる強制排水の対応を行っているところです。現状のポンプの排水能力を上回る大雨によって内水氾濫が排除しきれなかったことは、大きな問題点と捉えております。これまでの対策・近隣市との状況について伺う。

答 対策としては、ポンプの増設があります。最初のポンプは、ゲートと同時期の昭和50年代に設置され、埼玉県との協議を行いながら、平成に入りエンジンポンプ2基を増設するなど、さまざまな対策を講じて、平成29年に現在の形となったものです。

問 また、白岡市では蓮田市と連携して、大柳排水ポンプ場で直接元荒川への強制排水を行っています。常に連携して両ポンプ施設を運転しているところです。さらに、元荒川下流(さいたま市岩槻区)にある末田須賀堰は平成16年に操作が見直され、蓮田観測所において流量が一定量を超えると放流することになりました。

問 今後の対応は。

答 水門ゲートの新設に向け詳細設計業務を行い、水門ゲートの早期着工、完成を目指していきたいと考えています。

問 西城沼公園内歩道整備の進捗状況について
現状と今後の予定は。

答 本事業は子どもたちに、より安全性の高い通学路を確保することを目的とした園路整備事業です。現在、西城沼公園入り口付近から黒浜北小学校へ向かう市道



市役所庁舎の防犯に関して

現状は。

問 事件等が発生した場合は、マニュアルに沿って、速やかに警察に通報をするとともに、複数の職員により対応します。避難が必要な場合には、蓮田市庁舎消防計画において定めている避難経路に沿って、来庁者の避難誘導を行います。

答 令和3年11月2日には、埼玉県警察本部捜査四課と岩槻警察署刑事課の方を講師に招き、職員不当要求対応研修を実施しました。

問 対応要領や窓口対応のロールプレイングを行うなど、職員の窓口での具体的な対応方法や対応意識の向上を図りました。

答 今後の取り組みは。

問 さらになる防犯対策強化のため、補正予算において、庁舎南側の来客駐車場が確認できる防犯カメラを増設する費用を計上し、今後も、来庁者と職員の安全を確保するため、随時見直しを行います。

答 広報はすだの他言語対応に関して

問 今後の取り組みは。

答 ホームページを見ることで、一定の対応はできていますと考えています。今後は、広報はすだに記載のホームページのQRコード、ホームページの操作の仕方の周知を図っていきたくと考えています。

問 ホームページ掲載の広報テキスト版は、他言語表記への変換がより適切にできるように記事の種類や内容について調整していきます。



石川 誠司(はすだ政和会) 引きこもり対策について

支援状況、県との連携は。

問 家庭訪問や電話連絡による児童・生徒や保護者との信頼関係、教育支援シートの作成及び支援記録の引継ぎを行っています。その他にも、各中学校への心のホット相談員の配置、適応指導教室エコー等の教育相談体制を充実させ、1人1台端末を活用しオンラインでコミュニケーションづくりも行っています。

答 県からのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと共に協力し、支援しています。

問 また、ご本人やご家族からの相談には保健師が応じ、適切な助言を行い、家庭訪問にて支援を行っています。

答 心の健康相談の中で精神保健福祉士を中心に相談を受け、専門性の高い県の相談機関につないでいます。

問 引きこもり支援に特化した県の情報を、市のホームページから県のホームページにリンクし、確実に入手できるようにしています。

答 ピアサポートの活用検討は。

問 ピアサポートとは、引きこもりであった当事者が、自分自身の経験を活かし同じ仲間として気持ちを理解し、寄り添い共に支え合っていく役割をピアサポーターとして担っているものです。不登校の児童・生徒に対し、そのような

支援があることを伝え、ピアサポートの活動支援の輪を本人につなげていくことは、支援の方法として今後研究していきます。引きこもりピアサポーター養成研修は、全国引きこもり家族会連合会が実施しています。今後のあり方について調査研究していきます。



山田 孝夫(公明党) マイナンバーカードについて

問 マイナンバーカードの交付の現状については。

答 令和3年11月21日現在、発行枚数は2万3439枚、交付率は38.09%です。

問 円滑な交付に向けての取り組みは。

答 窓口のマイナンバーカード交付機を本庁舎が2台から4台へ増設、蓮田駅西口行政センターに2台新設しています。今実施されているサービスと今後については。

問 健康保険証として利用が可能です。また、入院などで医療費が高額になったときに、限度額適用認定証の持参が不要になりました。今後、さまざまなサービス機能の拡大が予定されており、利便性の向上が見込まれます。

問 新マイナポイントへの対応は。

答 マイナポイント予約支援コーナーの設置、手続きが自身で難しい方への支援等、情報格差対策としての対応を検討し

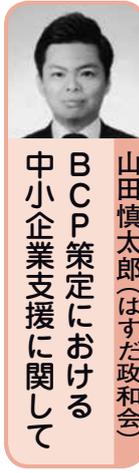
24号線沿いの樹木を伐採する作業の準備をしています。

問 特定健康診査・がん検診について

答 コロナ禍による受診控えの対応や周知の仕方、申し込み方法の工夫は。

問 受診者数は減少しています。がん検診については、勧奨通知にQRコード等も入れホームページにリンクするよう工夫しています。また、集団がん検診の申し込みの方法については、今後は電子申請等の導入も検討していきます。

(※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です)



山田 慎太郎(はすだ政和会) BCP策定における 中小企業支援に関して

問 今後のBCP策定における中小企業支援は。

答 市としては、まずは事業者の方にBCPについて知っていただき、理解していただくことが必要であると考えています。商工会とも連携を図りながら、BCPの周知に努めていきたいと考えております。

ていきます。

問 住民票写し等のコンビニ発行の予定は。

答 新年度に向けて導入を図っていきたく考えています。

交通安全について

問 通学路安全総点検については。

答 改善要望箇所43か所中37か所が対策箇所として、第5期埼玉県通学路整備計画に記載されました。

問 電柱幕の設置状況は。

答 「止まってくれてありがとう」と書かれた電柱幕は、のくぼ通りの交番付近に1か所設置しています。今後、藤ノ木坂手前の信号機のない横断歩道付近に設置予定です。

問 カーブミラーの曇り防止対策は。

答 今後、有効性や耐久性、経済性を考慮し、曇らないカーブミラーについての調査研究していきます。



鈴木貴美子(公明党)
子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について

問 子宮頸がんの原因であるHPVの感染を防ぐHPVワクチンは、2013年に定期接種となり、小学6年生から高校1年生の女子は、接種を希望すれば無料で接種が可能となった。一方で、接種後の副反応を訴える声が相次ぎ、国は積極的勧奨を差し控えた。2021年11月、厚生労働



元荒川に架かる水管橋

省は積極的勧奨を再開することを承認した。キャッチアップ接種(定期接種対象年齢以外への救済)も定期接種も制度の対象となり次第、対象者全員に郵送通知を実施するべきと思うがいかがか。

答 公費で接種を受けられる対象者と保護者には、準備ができた次第、個別に周知を行います。キャッチアップ接種の方には、国や県の動向を注視し、方針が決定次第、検討していきます。

問 水管橋の安全確保について

答 全国で水道施設の老朽化を背景に事故が増えている。10月和歌山市の六十谷水管橋で崩落事故があり、断水が発生した。地震が頻発化している中、水道網を守る対策が急務と考えるがいかがか。

答 来年度、水管橋点検業務委託により詳細な調査を行い、毎年の目視点検を強化していきます。

国民健康保険高額療養費支給申請手続きの簡素化で市民サービスの向上を

問 同じ月内に医療機関や薬局窓口で支払った金額が高額になり、定められた自己負担限度額を超えた場合に申請すると、超えた分が払い戻される制度だが、その度に申請しなければいけない。2021年3月の一部法改正により、年齢要件を設けず、手続きの簡素化が可能となったがいかがか。

答 10月に要綱を制定し、11月から実施しています。



福田 聖次(初心の会)
災害対策について

問 災害時避難行動要支援者避難行動支援制度について、今後の課題と解決策は。

答 最新の登録名簿の自治会等への配布を予定しましたが、感染症の影響により延期しました。今後、自治会等に制度説明の機会を設け、個別計画書作成に繋がります。

問 早急に名簿等の更新情報を自治会等に連絡すべきでは。

答 可能な限り早く対応します。

問 地域防災計画遂行における震度の把握と市民が知る「アラート」等との整合は。

答 蓮田市は埼玉県南部地域に属し、10月7日の千葉県北西部地震の際、震度5強観測の川口市と宮代町も含んでおり、

Jアラートは地域最大震度情報を受け起動するので、蓮田市計測の震度4と異なる震度がJアラートを介して防災無線で放送されました。今後はこのような事態が生じることを、市ホームページ等で周知します。

問 防災無線が聞こえづらいとの声があるが、防災無線個別受信機の設置を考えてはどうか。

答 情報伝達手段として有効と考えています。

問 「避難所運営委員会」の現状は。

答 年度内に避難所運営委員会を設立予定です。

問 危機管理課の体制について、市長は常々「埼玉一」安心・安全な街をめざしていると言っているが、これで十分と考えているのか、市長の考えは。

答 危機管理課だけでは対応できないので、災害発生時には市長を筆頭に職員同士が連携することとし、平時よりさまざまな方策を練って、発災時には市役所全体で対応することとし、今後も状況を総合的に判断しながら対応します。



木佐木照男(市民クラブ)
農業集落排水事業について

問 農業集落排水事業の目的は。

答 農業集落排水事業は、「農業集落における、し尿や生活雑排水などの汚水を処理する施設の整備により、農業用排



駒崎・井沼農業集落排水処理場

問 各施設の状況と課題は。

答 各施設共通の課題としては、施設の老朽化とそれに伴う維持管理費用の負担です。各処理場の各種機器やマンホールポンプなどについては、必要に応じて毎年修繕や交換等の対応をしておりますが、計測設備は10年、ポンプ設備は15年など、それぞれ定められている法定耐用年数を過ぎている設備もあり、これらに必要な予算は今後更に増大していくと思われ、事業の大きな課題と考えております。

問 井沼地区未整備箇所の取り組みは。

答 地域の一部が駒崎・井沼地区の農業集落排水事業の区域内となっておりませんが、この区域における土地の利用形態はさまざま、権利者の皆様にもいろいろな考え方があり、調整に難しい面があります。

問 地域で速やかに避難所を開設できるように、地域のかたが避難場所の鍵を解錠できる体制を整えてはいかがでしょうか。

答 十分に検討していきます。

問 蓮田市洪水ハザードマップでは、元荒川の浸水を想定していないが、埼玉県の情報を基に浸水を想定すべきではないか。

答 埼玉県では、元荒川及び綾瀬川の水害リスクをシミュレーションしています。この情報を、今年度中にWeb版洪水ハザードマップへ反映し、市民の皆様へホームページで公表します。

問 元荒川（八幡橋付近）に設置されている水位カメラでは、避難の判断に必要な情報が得られない。市民の皆様が必要な情報を得られるよう、国や県に要請すべきではないか。

答 現在、危険水位・警戒水位・注意水位が表示されています。今後、水位表示や情報提供の方法など、関係機関に相談します。

実施計画のみだったが、市民や事業者の実施計画も策定すべきでは。

答 市の環境基本計画に内包させる方向です。

問 再エネ由来電気への切り替えや、再建予定の環境学習館ほか、公共施設・学校施設への太陽光パネル設置、農家支援を兼ねたソーラーシェアリング推進等、市として持続可能な形で、新たなCO2削減の取り組みを加速させていくべきでは。

答 課題はさまざまあり、市のレベルでどう取り組むか、前向きに考えたいと思います。

問 子ども主体のICT活用を目指して

答 タブレットを1人1台配布後、学校間で活用度の差が大きい。教員の負担軽減のためにも、専門的に質問・トラブル対応ができる「ICT専門員」を各校に配置してはいかがでしょうか。

問 配置の時期は未定ですが、早期配置に動いています。

答 日本では定まった行動規範を教える「情報モラル教育」が一般的だが、それでは子どもたちの主体性が育たない。ICT活用を通じ、さまざまな社会課題における意思決定プロセスに参加することを目指して、子ども自身が知り、考え、意見をもって論じ、決めることを学んでいく、世界の「DC教育（※）」の視点を取り入れては。

問 今までのやり方と歩調を合わせ、学校教育全体を通して行い、特に技術家庭や総合的学習の中では可能だろうと考えられています。

答 *DC教育：デジタルシチズンシップ教育。



関根 香織（はすだ政和会）
時代や社会に即した
学校生活の在り方

問 日々の携行品が少なくなるよう、デジタル教科書をダウンロードしたタブレット端末を活用してはいかがでしょうか。

答 将来的には、そのような取り組みも可能であると思います。

問 ジェンダーレス制服の採用が進むよう、各中学校に推奨してはいかがでしょうか。

答 社会の動向を注視し、導入について研究していきます。

問 災害に強いまちづくり



榎本 菜保（日本共産党）
気候危機を打開する
ために

問 地球の気温上昇1.5度抑制が世界の共通目標となり、CO2の排出量を、2030年までに45%削減、2050年までにゼロにする必要が示された。しかし今のままでは1.5度の臨界点を超え、地球が暴走して止められなくなる危険性があると言われている。

今まで地球温暖化対策実行計画は、市の



北角 嘉幸(無党派)
蓮田市と株環境都市再生研究所との契約

問 市が株環境都市再生研究所に委託した事業について、群馬県ホームページの無断使用が疑われる同社作成の報告書では、同社の代表者は不明だと答弁されたが、代表者は、*この方(議場配付資料)ではないのか。

答 代表者であるかどうかは分かりませんが、同社とのやり取りは*この方で行っていました。

問 では、*当事者に聞けばよいではないか。業者をかばっているのか。

答 時間も経過しているので、聞くつもりはありません。かばってはいません。

問 同社が作成したスマートインターチェンジの調査報告書は、スマートインターが管理用道路に接続されているが、県道接続の提案は同社からあったのか。

答 当時、スマートインターは、物理上管理用道路に接続するしかなく、管理用道路から御林橋を通して県道に出る提案はありましたが、今回のように直接県道に接続する提案はありませんでした。

問 御林橋を使う案はどうだったのか。

答 幅員が4m以下で、国土交通省からは認められませんでした。

問 結局、同社の報告書では、スマートインターの設置ができず、改めて他社に調査を依頼することになったが、調査が重複している部分は委託料の減額を求める

べきではなかったのか。

答 ご指摘のように、国に提出する部分、報告書の第3章が重複していますが、減額は求めませんでした。

※ほかに、資格創設による関戸式三番の振興、通称虎子石を中心とした下蓮田地区の振興、西口再開発、農地法51条などについて質問。

(*印については編集委員会にて修正しました。)



秦 邦雄(市民クラブ)
円滑な3回目のコロナワクチン接種に向けて

問 1・2回目の接種の状況は。

答 12月6日現在、12歳以上の2回目の接種率は87・81%です。年代別では50歳代以上が概ね90%以上、40歳代は約85%、30歳代以下は約80%です。11月中旬以降は一日の新規予約者数の平均が10人以下となり、ほぼ完了したものと考えています。

問 3回目の接種計画は。

答 2回目接種から原則8か月を経過する方からの順とし、市内医療機関での個別接種を中心に、8か月を経過する人の多くなる3月、4月と6月には総合市民体育館パルシーでの集団接種も併せて実施する予定です。接種の予約方法はこれまでと同様です。

問 3回目接種のタイミングは。

答 2回目の接種日から8か月後の同日以降に希望者全員が遅滞なく接種でき



るよう、接種券を発送し、予約いただくこととなります。

問 3回目のワクチンの種類は。

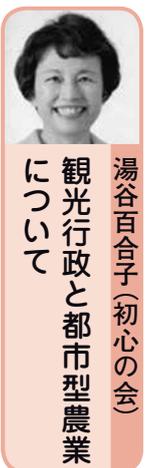
答 1・2回目で受けたワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社製又は相当地供給される武田モデルナ社製のワクチンを使用する予定です。予約の際にはどのメーカーのワクチンを接種するかお知らせする予定です。

問 3回目接種での改善点は。

答 接種券の発送を小刻みに行い、予約の分散化を図るとともに、高齢者の予約時期を中心にコールセンターの大幅な増員や、公共施設での予約支援の拡充も検討しています。

問 3回目の接種についての課題等は。

答 2回目までとは異なるメーカーのワクチンを接種する交互接種について市民の理解を得ること、今後の感染状況の変化などに伴い早急な対応が必要となること※ほかに、市の公園等について質問。



湯谷百合子(初心の会)
観光行政と都市型農業について

問 観光客を呼ぶことができる資源は何か。

答 「国指定史跡黒浜貝塚」や「黒浜沼」「山ノ神沼」「桜まつり」「蓮田市民まつり」「うたやの森フェスティバル」などがあげられます。

問 市外からの人を呼ぶ観光の要素は、「遊ぶ・食べる・買い物をする」である。「黒浜貝塚」の観光の要素について、今後どう考えていくのか。

答 「黒浜貝塚」は縄文時代を感じてもらいたい、後世に保存すべき史跡なので、遊びや食、買い物は必要とは思いません。

問 市のキャッチコピーは、「とかいなかNo.1」。蓮田市は都市型農業を観光につなぐことができる絶好のポジションにある。特に梨はレベルが高く、他にもぶどう、キウイ、ブルーベリー等も行政がリードして観光という視点で考えたらどうか。

答 農家の多くは家族経営で、観光農園の開設については慎重な姿勢を示す農家が多いと考えています。

問 市民有志が開催していた「ひまわり畑」は、大型観光バスが来たり、ドラマのロケが行われたり、ニュースに取り上げられたり、関東一円からお客が来ていた。遊休農地にひまわりやコスモス、そばを植えて、観光とすることはいかがか。

答 農地は農業生産を行うことが目的の土地で、農業団体が主体となり、コスモスやそばを栽培して直売やイベントを開

を整備するものです。

③蓮田駅周辺の過度な集中を分散することを目的に有料駐車場として整備するものです。

問 そもそも当事業の趣旨は、街路・公園・広場等の既存ストックを修復、利活用することで、商店街のシャッター街など活力が低下した街の魅力を向上させて、まちなかににぎわいを創出させることである。産官連携による「のくぼ通り周辺商店街活性化事業」について、具体的な内容は。

答 人間総合科学大学の学生にのくぼ通りを通行してもらうため、文化祭の支援や「あの日のオルガン」の上映会を行いました。

問 それは当事業の趣旨とは合致しない。もつと汗をかいてアイデアを出すべきだ。中央公民館の裏の駐車場をただ有料化するのではなく、商店街利用者は無料にするなど、まちなかに人を呼び込む施策も考えるべき。

答 ご指摘の通り、検討を加えます。

黒浜公園・東埼玉病院周辺整備基本計画について

問 今までも何人もの議員が質問してきたが、用地買収の交渉を継続中との答弁が繰り返され、遅々として進んでいない。市側の問題なのか、国及び病院側の問題なのか。

答 用地が確定しないことと財政の措置ができていないことによるものです。

問 計画では発掘調査から始めて完成まで十年もかかる。計画策定からも既に

年数が経っている。あの土地は遺跡の宝庫。せめて発掘調査を先行することはできないか。

答 ご指摘の通りで、用地買収交渉と同時に発掘調査を進められるか検討します。



高橋健一郎(無党派)
新型コロナウイルス感染症対策について

問 市内のコロナワクチン接種率と第6波の備えとして3回目のワクチン接種時期、また、接種期間はいつまでを予定しているのか伺う。

答 1回目の接種率は89・22%、2回目の接種率は87・81%、3回目も、個別接種を中心に2回目接種後8か月を経過する方になります。ワクチン接種が多くなる3月、4月、6月は、集団接種も併せて実施して、令和4年9月30日までに接種期間の予定としています。

問 ワクチンの交互接種は、どのように行っていくのか伺う。

答 ファイザー社製ワクチンと、薬事承認されたのち武田モデルナ社製ワクチンが国から配分される予定です。今後は交互接種について市民の理解が得られるよう丁寧に周知を図っていきます。

蓮田駅東口黒浜線延伸について

問 計画内容と用地取得の割合、完成予定、市内でのメリットを伺う。

答 蓮田駅前広場入り口の交差点を起点に黒浜小学校付近の県道蓮田杉戸線まで1930mを整備する計画です。現在8

割強の用地取得です。

当該道路の延伸により蓮田駅東口と黒浜地区が直線で繋がります、利便性が高まるほか、両側歩道の道路が整備されることにより、安全面も確保されます。



栗原 勇(日本共産党)
ワクチン3回目接種予約
電話回線増やし、対応を

問 デルタ株感染拡大の時の経験から何を教訓とするのか、その教訓を生かして備えることが大事。その教訓について、どのように考えるか。

答 医療の逼迫により、必要な入院ができませんでした。入院調整が追いつかず、自宅待機中に家庭内感染につながりました。PCR検査を広く行う重要性は認識しています。

問 3回目のワクチン接種計画は。

答 ワクチン名は、ファイザー社又は武田モデルナ社製です。2回目接種後、8か月以上経過した人から接種券を発送します。個別接種を中心に、対象者が多い3月・4月・6月はパルシーにおいて集団接種も行います。

問 予約方法は、LINE、Web、電話のいずれかとのことだが、電話予約は、なかなかつながりにくい。つながった

ら、すでに満席。これでは困る。電話回線を増やしたり、電話枠を増やしたりする必要があるのではないか。

答 電話回線は増やします。電話予約枠も考慮して対応を考えています。

問 移動が困難な方への訪問接種、あるいは勤労者や学生に対する配慮として、土日の接種が必要ではないか。

答 市内個別医療機関に訪問接種の協力をお願いします。土日接種可能な医療機関をホームページで紹介します。集団接種の土曜日接種は、調整中です。

問 急激な感染拡大の場合、臨時医療施設の措置は。

答 県は増床に向けて、公立・公的病院から確保しています。ホテル等宿泊施設を中等症病床として確保する方針と認識しています。

12月定例会傍聴状況

月日	会議	人数
11/26	本会議	0
12/2	本会議 (議案質疑)	0
12/3	委員会 (総務)	0
12/6	委員会 (民生文教)	0
12/7	委員会 (建設経済)	0
12/9	本会議 (一般質問)	11
12/10	本会議 (一般質問)	27
12/13	本会議 (一般質問)	6
12/20	本会議	20
	合計	64 ^人

3月定例会は
2月18日(金)
開会の予定です